

勤労者のための休養施設

矢立ハイツの建設に着手

本市に、勤労者のための総合福祉センター(矢立ハイツ)が建設されることになりました。

この施設は、国(雇用促進事業団)を主体に県、それに本市の3者が設置するもので、広く地域の勤労者やその家族など一般の方でもが余暇を利用し、自然と親しみながら休養し、健康の増進を図りさらには研修に、スポーツなどに幅広い活用のできる施設となっており、完成後は秋田県勤労者福祉事業団が管理運営することになっています。

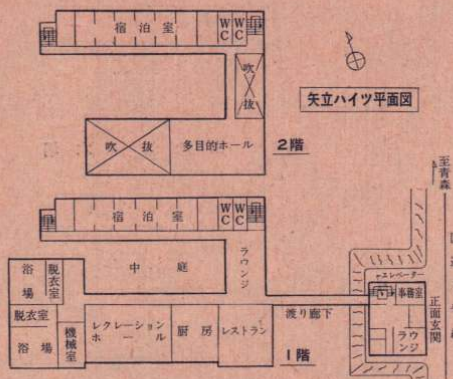
建設場所は、青森県との県境近くの矢立峠で、国道7号線を北に向って左側高台です。総工費は約6億円、うち雇用促進事業団が3億5,000万円、県が2億1,500万円、本市が3,500万円をそれぞれ負担することになっています

工事は、昨年10月から行われていた給水工事と電話工事はすでに完成、現在は

温泉ボーリングと進入道路工事が行われており、今月から敷地の造成工事にとりかかる予定です。

同施設は、先月の協議会で決定した設計により、国道端に売店やラウンジを配置した正面玄関を建設、後方高台には会議室や小体育館、それに宿泊室などを配置した本館が建設され、この2つをエレベーターと渡り廊下で結ぶ仕組みになっています。

オープン予定は来年4月となっており、秋田杉の美しい自然林に囲まれた、湯量



の豊富な休養施設の誕生が楽しみにされています。

こんにちは! 保健婦です

◆糖尿病について

最近、糖尿病患者が増えています。糖尿病でありながら、治療せずにそのまましておきますと、活動能力が低下し、脳卒中、心臓病、じん臓、白内障などを併発することもあります。

—こんな症状に気をつけましょう—

- 1 異常なほどノドがかわき、水が欲しくなる。
- 2 尿の回数も1回の量も増える。
- 3 全身がだるく、疲れやすく、勤労意欲も減退する。
- 4 異常なほど食欲があり、食後にも満足感がない。
- 5 やせてくる、食べても太れない。
- 6 かゆみがあり、できものができやすい。

—糖尿病にならないために—

- 1 太り過ぎないこと、理想的体重は、(身長-100)×0.9
- 2 食べ過ぎや糖分のとりすぎはつしむこと。
- 3 適当な運動を心がけること。
- 4 神経を疲れさせないよう精神衛生に気をつけること。
- 5 糖尿病の検査を定期的に受けること特に、両親や近い血族に糖尿病の人がいる方、40歳以上で太っている人は要注意です。

78歳末助け合い 市民のつどい



12月16日、「今年もみんなでもう福祉の灯」をスローガンに、第2回市民芸能の集いが、秋北ホテルを会場に行われました。

集いのトップバッター、石川市長が「紫小唄」を披露し、続いて市内著名人がぞくぞくとプロ顔負けの自慢ののどや踊りを披露、この日集った約500人の市民は、やんやの喝采、拍手を送っていました。

この日集った市民の善意約50万円は歳末助け合い運動の義援金として社会福祉協議会に贈られました。

花岡体育館が完成

今月11日からオープン

今年8月下旬から建設中の市立花岡体育館が完成しました。

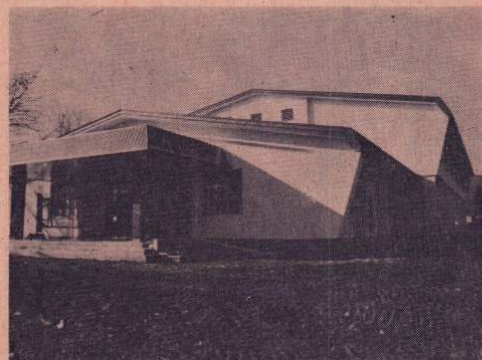
同体育館は、大館市と花矢町との合併10周年記念事業として建設されたもので、用地は同和鉱業花岡鉱業所の共築館跡地を市が無償で借り受け、総工費約9,500万円で新築したものです。

総面積が999.4平方メートルの鉄骨造り一部簡易耐火構造で、バスケットボールやバレーボール、それにテニスなどが出来る広々としたステージ付体育室はもろんのこと、会議室、医務室、シャワー室なども完備された、各種スポーツに活用出来る立派な体育館となっています。

花岡地区はもとも各種スポーツの盛んなところでもあり、この完成により今後地域のスポーツ振興に大いに役立つものと期待されています。

しゅん工式典は、1月10日(水)午前11時から同体育館で行われ、当日はバレーボールの紅白試合も行われることになっています。

市民の皆さんへは翌11日からオープンされますが、利用申し込みは1月4日から受け付けします。花岡体育館(電話は46-3232)へ直接お申し込みください。



完成した市立花岡体育館

行政報告

12月定例会が招集された12月11日、議案説明に先立ち、石川市長から9月定例会以後の主な事項について、行政報告がありました。その内容について市民の皆さんにお伝えします。

<国の特定不況地域の指定等について>

本市では、主産業の一つである鉱山の不況による危機打開のため、かねてから県をはじめ関係諸団体と協力して、鉱業政策の確立と、長期不況にあえぐ市内中小企業の救済措置を国等に強く働きかけてきましたが、さきの臨時国会で、金属鉱業事業団法の一部が改正され、鉱山については新設の緊急融資基金を通じ、53、54の両年度で低利の経営安定化資金が融資されることになり、52年から相次いだ閉山ラッシュに歯止めをかける効果があるものと期待されています。

又臨時国会では、特定不況地域中小企業対策臨時措置法と特定不況地域離職者臨時措置法も可決成立され、去る11月20日には政令で「特定不況業種」に「銅又は亜鉛鉱業」、「特定不況地域」に「大館市」、「関連市町村」に「鹿角市並びに鷹巣町及び比内町」が指定されましたことは既にご承知のとおりです。

この両法の施行にあたり、認定基準などの細則がそれぞれ示され、融資や雇用対策の実施により、市内中小企業

の経営安定の一助になると考えています。

又、自治省でもこれに続いて、特定不況地域の救済にあたることを決めておりますが、これは企業者への救済を重点とした通産、労働両省の対策とは別に、市町村に対する行財政措置等をもりこんだ、地域振興総合対策による不況対策ということですので、本市ではこの指定も受けられるよう、県を通じて強力に働きかけています。これが認められれば、今後55年度までの3カ年度で市の公共事業、単独事業、大規模維持修繕工事等をさらに増加し、公共投資を通じて景気刺激と雇用の創出を図ることになりますので、幾分なりとも地域経済への好影響が期待されます。

<白沢営林署について>

市では、今年8月以来農林水産大臣をはじめ、林野庁長官、秋田営林局長に要望書を提出し、白沢営林署の存続方を訴えてきましたが、54年3月1日をもって廃止の告示がなされました。時代の推移とはいえ誠に残念ですが、国は、これまでの陳情要請活動等を通じて、同営林署と地元とのつながりの深さ、地域的な役割の重要性を考慮し、代替措置として現地に準営林署的な営林事務所を設置することと、地域振興対策を講ずることの二つが市にも伝えられています。

現在、その具体的内容はまだ提示されていませんが、今後の諸問題を関係者と十分協議し、営林署廃止の急激な影響をできるだけ小さくするよう取組んでいく考えです。

<し尿処理場の放流水について>

この件については9月定例会においても、これまでの経過をご報告してきましたが、その後も施設全般にわた

り適正な維持管理をしてきたところ、消化槽の機能が順調に回復し、放流水も基準値を下廻り安定した状態が続いており、10月30日から投入量の増加を試みましたが、消化槽をはじめ施設に変化もなく順調ですので、今後は施設の機能診断を行いながら、投入量を徐々に増やしていずれ全量投入をしたいと考えています。

<第一中学校と成章中学校新築工事の進捗状況について>

まず、第一中学校は、工事が順調に進み、1月の3学期から残りの普通教室棟と管理棟が使用できる見通しであり、又、成章中学校についても、工事が順調に進み、一中同様3学期から新校舎に移れる見通しです。

<広域市町村圏組合関係の事業について>

まず、畜場の新築事業についてですが、7月中旬に整地が完了し、7月21日から建物工事に着手、現在は畜場棟、待合棟及び集糞工事を施行中であり、業務開始は、年度初めのころと予定しています。

次に、堤沢最終処分場新設事業についてですが、今年6月に着工、現在は埋立地関係と水処理施設関係の二つに区分して、それぞれ施行中で完成は当初年度末としていましたが、粗大ゴミ処理施設との関連から、業務開始は新年度にずれ込むことも考えられます。

又、粗大ゴミ処理施設事業ですが、今年度当初に着工の予定でしたが、国からの補助の内示が得られず、11月8日に至り内示があり、現在、早期完成を目指し工事中ですが、着工の遅れから埋立地を含めた全体の業務開始は、予定より若干遅れるものと考えられます。